



# 初めての方の筏釣り入門



## 竿とリール



竿は扱いやすい 150 cm ~ 180 cm を選びます。

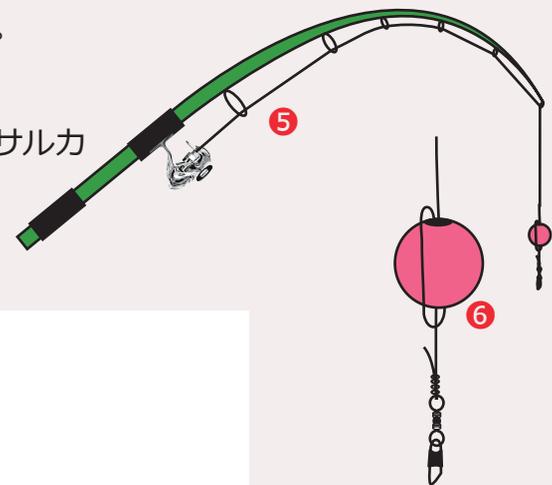
リールはスピニングタイプの 1000 番 ~ 2000 番、道糸は 1 号 ~ 3 号

- ① リールを竿にしっかり固定します。
- ② ハンドルを起こしてしっかり固定します。
- ③ ハンドルが逆回りしないようスイッチを切り替えます。



- ④ ベールを起こして糸を出します。
- ⑤ 釣竿のガイドに順に通します。
- ⑥ 糸の先はビーズ玉を一周させ、サルカンフックを結びます。

※巻き込み防止と竿先保護のため



## 糸の結び方



ラインをサルカンへ通す



端糸を本線に 4 ~ 5 回巻き付ける



巻き付けた端糸を付け根の交差部へ差し込む



ゆっくり本線を引いて結び目を締め込む

## 仕掛け

仕掛けは通常のサビキ 6 本針を半分に切って 3 本針にします。

サビキは枝針が上向きに反り返るように着けます。

おもりは 7 号 ~ 8 号を一番下に

※タイ製のおもりは中通しのタイプがほとんどなので、針金などで輪を作っておくと簡単に交換ができます。



正しい向き



上下反対



## エサの付け方



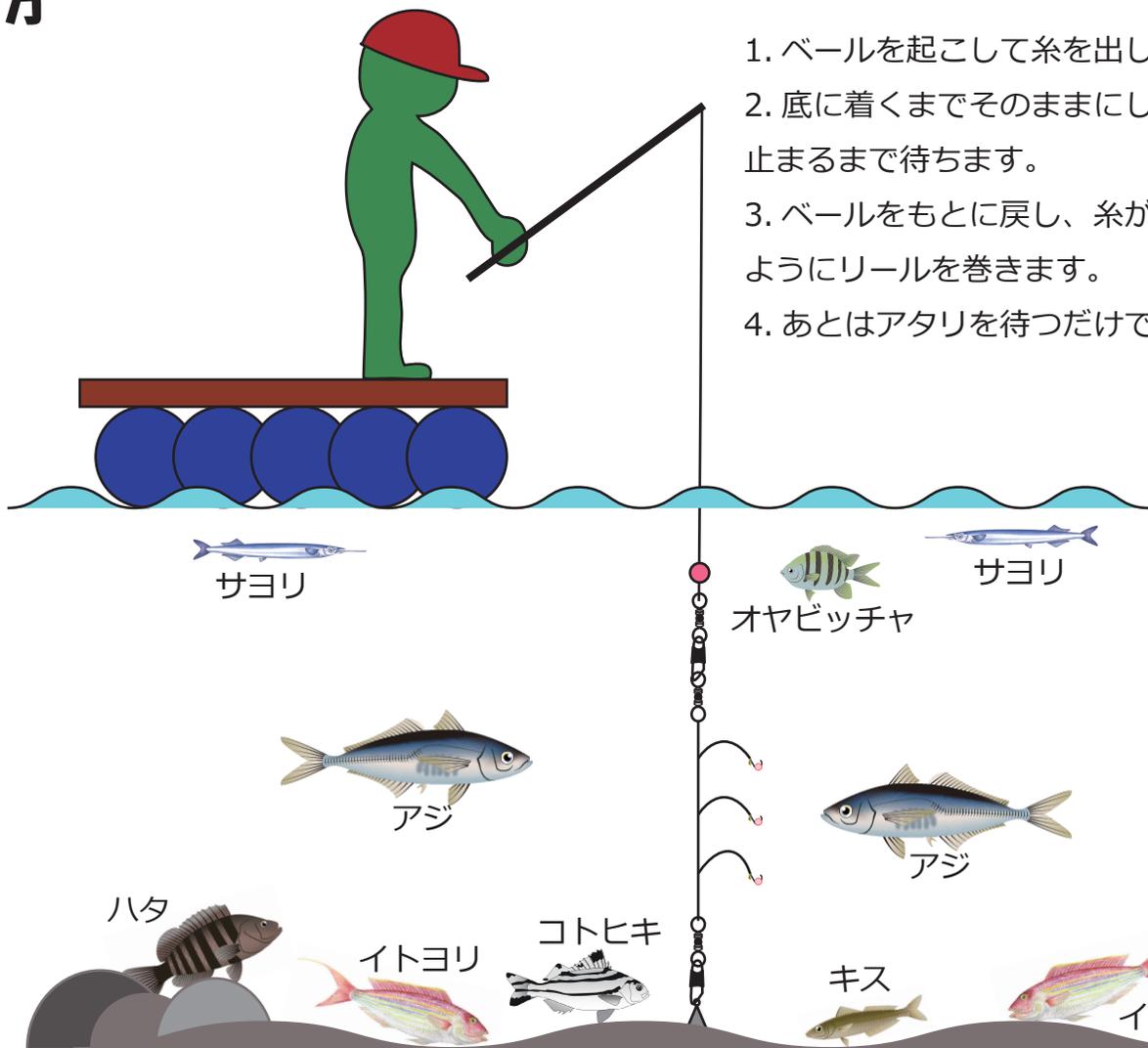
エサのエビの皮を剥きます。

これをハサミで 5mm角の大きさに細かく切ります。

※エサが大きいと魚の口に入らないので、針に掛かりません。



## 釣り方



1. ベールをを起こして糸を出します。
2. 底に着くまでそのままにし、糸の出が止まるまで待ちます。
3. ベールをもとに戻し、糸がピンと張るようにリールを巻きます。
- 4.あとはアタリを待つだけです。

海底が砂地の場合、キスやイトヨリは砂の中からエサを吸い取るように捕食します。

ハタは岩の陰に隠れて上から落ちてくるエサを捕食します。

アジは底から少し上の棚を泳いで捕食します。

3本針の場合、真ん中から上の針に掛かることが多く、棚もその時によって変化します。

小魚はおもに一番下のエサを狙うので、エサ取りが多い場合は、おもりを底から 30 c m程上げます。